

平成 27 年 2 月 13 日

報道関係各位



プレスリリース

日本農業経営大学校の校長交代に関するお知らせ

日本農業経営大学校を運営する一般社団法人アグリフューチャージャパンは、本日開催の平成 27 年度第 1 回理事会において、校長理事（日本農業経営大学校 校長）の交代について下記の通り決議致しましたのでお知らせ致します。

記

1、実施日

平成 27 年 3 月 12 日開催予定の第 3 回定時社員総会及び社員総会後の理事会において、正式に決定後、実施致します。

2、校長理事の異動

(1) 異動の内容

< 退任 >

校長理事（日本農業経営大学校 校長） 岸 康彦

< 新任 >

校長理事（日本農業経営大学校 校長） 堀口 健治

（早稲田大学名誉教授 元副総長、当法人顧問）

(2) 新任校長理事の略歴

別紙の通り

(3) 退任・就任予定日

平成 27 年 3 月 12 日

■お問い合わせ先

一般社団法人 アグリフューチャージャパン（日本農業経営大学校 運営法人）

企画部 横田・長谷川 電話番号 03-5781-3750

以上

## 【新任校長理事の略歴】

### 氏名

堀口 健治

1942年（昭和17年）生まれ

### 学歴

1965年3月 早稲田大学第1政治経済学部政治学科卒業

1968年4月 東京大学大学院農学系研究科博士課程中退

### 略歴

1968年～1976年 鹿児島大学勤務

1976年～1991年 東京農業大学勤務、を経て、

1991年4月 早稲田大学政治経済学部教授

1998年～2002年 同学部学部長

2002年～2010年 同大学常任理事、副総長

2013年3月 同大学定年退職

2002年～2004年 日本農業経済学会 会長

～現在 早稲田大学政治経済学術院名誉教授

### その他役職等

農政審議会、国土審議会等の委員を歴任

屋代村塾（山形県高島町）および葉山村塾（山形県寒河江市）塾長

1㎡自然農園の会 会長

### 主要な著書（編著、共著を含む）

『土地資本論』（1984年 農林統計協会）

『転換期の加工食品産業』（1987年 御茶の水書房）

『食料輸入大国への警鐘』（1993年 農山漁村文化協会）なお同書は東畑記念賞を受賞

『農政改革の世界史的帰趨』（1994年 農山漁村文化協会）

『わが国 農業・農村の再起』（2009年 農林統計協会）

『「農」を論ず』（2011年 農林統計協会）

『書を持って農村へ行こう』（2011年 早稲田大学出版部）なお同書は農林中央金庫・農  
林中金総合研究所の寄附講座をもとに編集・執筆

『現代総合商社論』（2011年 早稲田大学出版部）

『農業・農村基盤整備史』（2012年 農林統計協会）

『再生可能資源と役立つ市場取引』（2014年 御茶の水書房）

以上

## <ご参考>

### ■日本農業経営大学校

【概要】 名称：日本農業経営大学校

所在：東京都港区港南 2 丁目 10 番 13 号 農林中央金庫品川研修センター5 階

開校：2013 年 4 月 4 日

学生数：1 学年 定員 20 名

教育期間：2 年間（全寮制）

### 【目的】

日本農業の未来を創造する次世代の農業経営者を育成します。農業界のみならず、産業界・学界からの多くの支援を頂きながら、日本の農業を先導する人材を輩出していきます。いま、農業者に求められる能力は、経営の発想と技法です。それは、「問題が与えられ、正解を教わる」のではなく、「何が問題かを考え、解決方法を創出する」能力です。また、地域社会の中核となり、課題解決の実行・促進する能力や異業種を含む多数多様なネットワークを構築する能力も必須となります。

こうした能力を身に付けた次世代の農業経営者を育成する場が、「日本農業経営大学校」です。

### 【教育の特色】

1. 農業経営者育成に特化した教育：理論と実践を有機的に結合し、実現します。
2. 充実したカリキュラム：時代の潮流や学生のニーズを的確に捉えます。
3. 各界トップクラスの講師陣：世界的視野に立った授業が受けられます。
4. 濃密なサポート体制：4 名の担当教員を含む 8 名の専門スタッフが全面的にバックアップします。
5. 幅広いネットワークの構築：産・学・農が連携し、新たな農業の可能性を広げます。

### 【本校で育む 4 つの力】

次世代の農業経営者に必要な資質・能力は、経営力・農業力・社会力、および人間力です。講義・演習や現地実習等による学校生活と、全寮生活、農業実習・企業実習を含めた幅広い活動を通し、この 4 つの力をバランス良く育みます。

1. 経営力：経営者に求められる知識・技術に裏付けられた判断力および決断力
2. 農業力：農業者に求められる知識、技術に裏付けられた地域農業の実践力
3. 社会力：農業経営を取り巻く社会への適応力および変革力
4. 人間力：倫理観、哲学、使命感などの農業経営者としての基盤となる資質・能力

## ■一般社団法人 アグリフューチャージャパンについて

【概要】 名称：一般社団法人 アグリフューチャージャパン

理事長：浦野光人（株式会社ニチレイ 相談役）

所在：東京都港区港南 2 丁目 10 番 13 号 農林中央金庫品川研修センター5 階

設立：2012 年 2 月 1 日

会員数（正会員、賛助会員含む）：256 社（2014 年 7 月現在）

### 【使命】

私たちは、次世代の農業を担う人材の育成を通じて、魅力ある農業を創造し、地域社会・経済の持続的な発展に貢献します。

### 【目標】

#### （1）人材の育成

・持続可能な農業を確立出来る農業経営者、世界的な視野と地域での実践力を兼ね備えたリーダーを育成します。

#### （2）多面的なサポート

（1）の人材が中核となって進める以下の取組みを多面的にサポートします。

・農業の新たな価値を創造し、広範な国民の支持を得た誇りある農業経営モデルを生み出します。

・地域資源の掘り起こしと多様な組織・人々との連携を通じ、地域社会・経済を活性化させます。

### 【事業】

（1）農業経営者等の人材育成に関する常設教育機関の運営事業

（2）農業経営者等の人材育成に関するセミナー・講演事業

（3）農業経営者等の人材育成に関する通信教育・出版事業

（4）農業経営者等に対する経営相談・コンサルタント事業

（5）農業経営等に関する調査・研究及び普及・啓発事業

（6）農業経営等に関する交流・情報提供事業

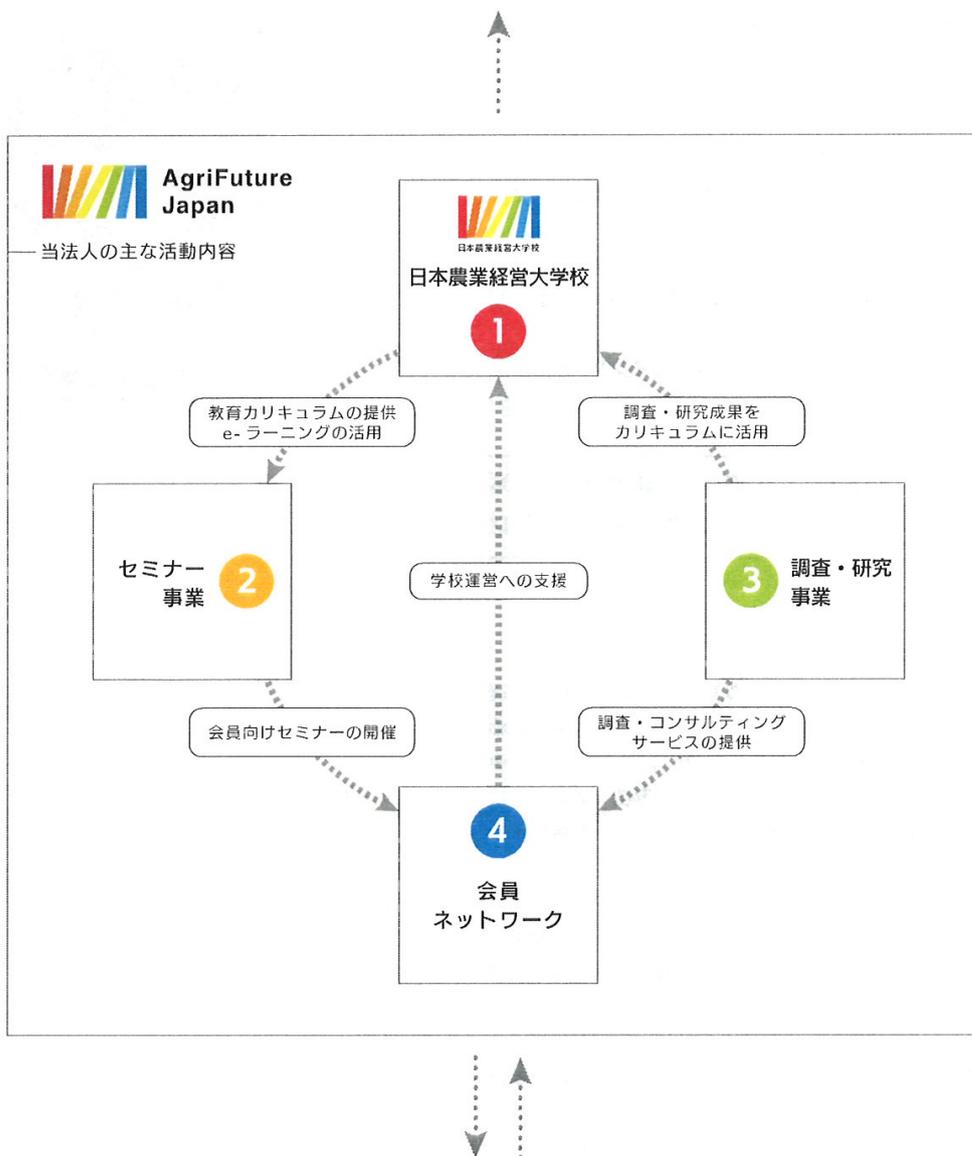
（7）その他、当法人の目的を達成するために必要な事業

一般社団法人アグリフューチャージャパンは日本農業経営大学校の運営事業を中核として主に4つの事業に取り組みます。

活動内容

VISION

日本農業の未来を拓く次世代の農業経営者を育成



業界を横断した幅広い企業・団体等

(正会員・賛助会員)